

第8章 学校以外の教育機関等

第1節	県教育研修センター	171
第2節	県立図書館	180
第3節	県立美術館	186
第4節	県総合博物館	192
第5節	県立西都原考古博物館	200
第6節	県埋蔵文化財センター	204
第7節	スポーツ指導センター	212
第8節	青少年教育施設	222

第1節 県教育研修センター

1 設置目的

昭和43年4月1日教育機関設置条例の一部を改正する条例（宮崎県条例第8号）により、宮崎県教育研究所を廃止し「教育関係職員の研修及び教育に関する専門的、技術的事項の研究を行う」ことを目的として、宮崎県教育研修センターが設置された。

2 施設（令和6年3月31日現在）

設置場所	宮崎市阿波岐原町前浜4276番729		
敷地面積	14,524.32㎡	建物	3,089.59㎡
		本館 2階建	2,781.16㎡
		附属棟（A棟） 1階建	187.54㎡
		附属棟（B棟） 1階建	120.89㎡

3 事業の概要（令和5年度）

令和5年度教育施策にのっとり、本県学校教育の向上並びに教育関係職員の資質の向上を図るため、各課が、次の事業を行った。

(1) 総務課 — 総務

- 務 — 職能研修(事務) — 新任研修
- 職能選択研修(事務) — キャリアアップ研修

(2) 学習研修課 — 教職研修

- 基幹研修 —
 - 臨時的任用講師等基本研修
 - 初期研修 1年目、2年目
 - 2年経過研修
 - 5年経過研修
 - 中堅教諭等資質向上研修
 - トップステージ研修
 - 新規再任用者研修
- 職能研修 —
 - 新任研修
 - 初担当研修
 - 管理職等研修
- リーダー養成研修 —
 - 次世代リーダー育成研修
 - 学校管理実務研修
- 課題別研修 —
 - 選択研修 —
 - 基礎・基本から学びたい方対象の研修
 - 課題を解決する力を高めたい方対象の研修
 - マネジメント力を高めたい方対象の研修
 - 管理職対象研修
 - 職能選択研修 — 職能に応じた選択研修
 - 教育課題研修
 - その他の研修 — スーパーティーチャー等授業公開
 - 自主研修 —
 - ひなた教師塾
 - (いつもよりちょっと楽しい)ICT講座
 - Weekend Short Seminar
 - 教職員仲間づくり講座
 - 資質向上研修
 - 研修生研修

(3) 教育支援課 — 教育支援

- 学校教育への支援
 - 広報活動
 - 生涯学習・社会教育支援
 - 生涯学習・社会教育課題別研修
 - 地域と学校の連携・協働及びキャリア教育の研修
 - キャリア教育支援の推進
- 教育情報
 - 「教育ネットひむか」の運用
 - 教育の情報化の支援
- 特別支援教育
 - 「みやざきの特別支援教育」の運用
 - 学校支援

4 令和5年度事業実績

(1) 総務課事業

- 総務担当・・・学校事務職員研修（学習研修課事業参照）

(2) 学習研修課事業

- 基本・職能研修担当

ア 基幹研修

【初期研修1年目、2年目】

- ・初期研修の対象となる公立小・中・義務教育学校及び県立学校の教諭等、養護教諭、栄養教諭に対して、県教育委員会が定める初期研修実施要項及び初期研修実施計画に基づき、校外研修の一環として基本的な研修を実施した。
- ・新規採用及び知事部局等から初めて公立小・中・義務教育学校及び県立学校に転任した事務職員（主事、主任主事、事務主査）に対して、事務新任者研修として、学校事務職員としての資質の向上を図ることを目的として、その職務遂行に係る基本的な事項について研修を実施した。

【初期研修1年目】

		小学校 教諭等	中学校 教諭等	義務教育学校 教諭等	県立学校 教諭等	養護教諭	栄養教諭	計
①	研修回数(回)	7			10	10	10	37
	日数(日)	7			11	10	10	38
②	対象者数(人)	151	86	4	106	20	1	368

※小・中・義務教育学校教諭は、上記に加え、各教育事務所で2日間、各市町村教育委員会で2日間実施

【初期研修2年目】

		小学校 教諭等	中学校 教諭等	義務教育学校 教諭等	県立学校 教諭等	養護教諭	栄養教諭	計
①	研修回数(回)	2			2	2	2	8
	日数(日)	2			2	2	2	8
②	対象者数(人)	120	55	1	91	14	1	282

[経験者研修]

- ・教諭等については、採用後2年、5年、概ね10年を経過した者を対象として、一層の指導力の向上を図るため、教育指導上の諸問題について研修を実施した。
- ・養護教諭については、採用後2年、5年、概ね10年を経過した者を対象として、一層の資質の向上を図るため、時代に即した新たな健康問題への対応の在り方等について研修を実施した。
- ・栄養教諭、学校栄養職員については、採用後2年、5年、概ね10年を経過した者を対象として、自己の課題や児童生徒の食に関する課題の現状を把握し、積極的に学校給食の管理や食に関する指導を展開できる実践力を身に付けるための研修を実施した。

【教職経験2年経過研修】

		小学校 教諭等	中学校 教諭等	義務教育学校 教諭等	県立学校 教諭等	養護教諭	栄養教諭	計
①	研修回数(回)	1			1	1	1	4
	日数(日)	1			1	1	1	4
②	対象者数(人)	118	48	2	68	10	3	249

※上記に加え、選択研修を2日間実施。

【教職経験5年経過研修】

		小学校 教諭等	中学校 教諭等	義務教育学校 教諭等	県立学校 教諭等	養護教諭	栄養教諭	計
①	研修回数(回)	2			2	4	4	12
	日数(日)	2			2	4	4	12
②	対象者数(人)	120	60	2	84	16	5	287

【中堅教諭等資質向上研修】

		小学校 教諭等	中学校 教諭等	義務教育学校 教諭等	県立学校 教諭等	養護教諭	栄養教諭	計
①	研修回数(回)	8			7	9	9	33
	日数(日)	8			7	9	9	33
②	対象者数(人)	60	33	4	55	14	7	173

※上記に加え、小・中・義務教育学校教諭 各市町村教育委員会で1日間実施

※上記に加え、選択研修を宮大附属小・宮大附属中・県立中教諭・養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員は1日間、県立学校は2日間実施

[臨時的任用講師等基本研修]

	小学校	中学校	義務教育	県立学校	計
受講者数(人)	102	63	4	114	283

[新規再任用者研修]

	小学校	中学校	義務教育	県立学校	計
① 研修回数(回)					
〃 日数(日)					
② 対象者数(人)	62	47	1	39	149

[トップステージ研修(指定年齢)]

	小学校	中学校	義務教育	県立学校	計
① 研修回数(回)					
〃 日数(日)					
② 対象者数(人)	61	52	3	116	232

- ※ 対象者数の内訳：小学校は、国立小学校を含む。
 中学校は、県立中学校・中等教育学校前期課程・国立中学校を含む。
 県立学校は、高等学校・特別支援学校・中等教育学校後期課程を含む。
- ※ 研修回数及び日数：基幹研修の日数は、選択研修を含まない。

イ 職能研修

学校の管理職及び教務主任、複式学級初担任や特別支援学級初担任など専門的な教育指導等を必要とする職能について、その職務遂行に応じた基本的な事項や教職員としての資質の向上を図るための研修を実施した。天候不良や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部オンラインやオンデマンド等に研修方法を変更した。

領域	職 能 名	講 座 数	日 数 (日)	対 象 者 数 (人)
管 理 職 等	新任校長		3	89
	新任教頭		2	98
	新任事務長		2	10
	新任主幹教諭			60
	新任指導教諭			12
主 任 等	新任教務主任			82
	新任生徒指導主事			96
	新任進路指導主事			53
	新任保健主事			108
	新任特別支援教育コーディネーター			99
	新任事務主任			12
	新任共同実施主任			8
担 当 教 諭	複式学級初担任		2	36
	特別支援学級初担任		2	185
	通級指導教室初担当者		1	41
学校事務	学校事務職員新任者研修		2	46
合 計		16	23	1,035

ウ リーダー養成研修

[リーダー養成研修]

公立学校の教職員を対象に、本県教育のリーダーとしての資質の向上や本県教育水準の向上を図ることを目的として、学校運営を行っていく上での基礎的な知識を身に付けるための研修を実施した。

講 座 名	日 数	学 校 種 別 対 象 者 数				
		小	中	義務	県立	計
次世代リーダー育成研修	10	17	8	0	11	36
学校管理実務研修	4	104	80	3	37	224
計	14	121	88	3	48	260

- ※ 対象者数の内訳
- ・小学校は、国立小学校を含む。
 - ・中学校は、県立中学校・中等教育学校前期課程・国立中学校を含む。
 - ・県立学校は、高等学校・特別支援学校・中等教育学校後期課程を含む。

[研修生研修]

公立学校の教職員を対象に、教員の資質向上と教育実践の深化・充実を図る目的で、1年間の調査研究等、教育に関する専門的、技術的事項についての研修を実施した。

講座名	期間	学校種別対象者数				
		小	中	義務	県立	計
研修生研修	1年間	0	1	0	2	3

● 課題別研修担当

ア 選択研修

教職員のライフステージに応じた資質・能力・マネジメント力等の育成及び喫緊の教育課題への対応力の向上と教育実践力の進化・充実を図った。

研修数	日数	受講者数
31	45	3,089

※ 実施研修

- ① 基礎・基本から学びたい方向け研修
キャリア教育、特別支援教育、授業研究、生徒指導、保護者連携
- ② 課題を解決する力を高めたい方向け研修
カリキュラム・マネジメント、キャリア教育、人権教育、特別支援教育と生徒指導、児童生徒の特性に応じた支援、OJTの推進、不登校未然防止
- ③ マネジメント力を高めたい方向け研修
学校と地域との連携・協働、特別支援教育と組織マネジメント、ネット社会への対応、コーチングスキル
- ④ 管理職としてのマネジメント力を身に付けたい方向け研修
スクール・コンプライアンス、カリキュラム・マネジメント、人材育成

イ 職能選択研修

希望者向けに、各職能に関する専門的事項について研修を行い、職能としての資質の向上を図った。

講座数	日数	受講者数
8	8	981

ウ 教育課題研修

喫緊の教育課題の解決や本県の教育施策の充実を図るための研修を実施し、教職員のライフステージに応じた資質・能力・マネジメント力等の育成及び喫緊の教育課題への対応力の向上と教育実践力の進化・充実を図った。

研修数	日数	受講者数
12	18	2,335

エ 自主研修

教職員や保護者等、県民が自主的に参加する研修の場の充実を図るとともに、臨時的任用講師等の指導力の向上を図った。

研修数	日数	受講者数
4	24	957

※ 実施講座 ひなた教師塾、(いつもよりちょっと楽しい) ICT講座、Weekend Short Seminar、教職員仲間づくり講座

オ 資質向上研修

教育実践上の基礎的・基本的な研修や人間関係づくりを目的とした研修等を実施し、教職員の資質の向上を図った。

講座名	期間	学校種別受講者数				
		小	中	義務	県立	計
資質向上研修等	1年間	1	1	0	0	2

(3) 教育支援課事業

● 教育支援担当

ア 学校教育への支援

- ① 学校教育に関する課題等についての質問や相談への対応
個人(教職員)及び学校や教育研究団体を対象として、来所、電話、メール、FAXによる質問や相談への対応を行った。

来所	電話	メール	FAX	総計
6	90	1	0	97

② 研修サポート

幼・小・中・県立学校、教育研究団体等の研究及び研修について、要請に応じて指導主事等の派遣による指導・援助を行った。(※小中一貫校は、中学校に含める。)

校種等	小学校	中学校	義務教育	県立学校	その他	計(昨年度)
指導主事等派遣(件)	42	20	1	17	2	82(60)

- ③ 教育資料、図書、DVD等の紹介・貸出
カリキュラム支援センター所蔵の教育資料、図書、DVD等の紹介、貸出しを行った。

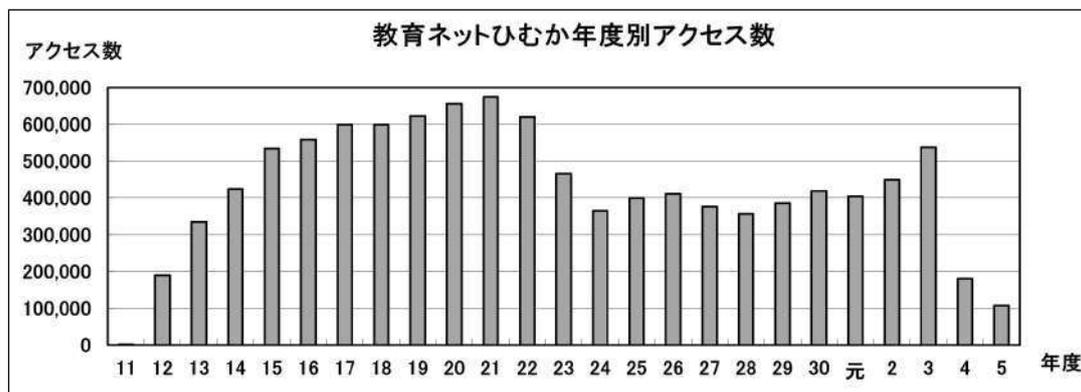
図書	研究紀要等
所有数	所有数
6,747	760

貸出者数(昨年度)
352(322)

- ④ 自主研究グループへの支援
自主研究グループを募集し、7団体を指定。延べ3回の指導主事等による研究会の支援や研修場所の提供を行った。

グループ名	研究内容	グループ名	研究内容
みやざき養護教諭29研修会(小・中・高・特支)	養護教諭の資質向上	養護教諭15(いちご)の会(小・中・高)	養護教諭の職務
みやざき特別支援教育コミュニティ(特支)	特別支援教育	全国養護教諭連絡協議会宮崎県研究会(小・中・高・特支)	養護教諭の資質向上
Seitoshidou2023(中)	生徒指導力の向上	TEAM NEXT -MIYAZAKI YOGO TEACHER(小・特支)	養護教諭の資質向上
On & Offの会(小)	授業における教育技術力の向上		

- イ 「教育ネットひむか」の運用 (<http://himuka.miyazaki-c.ed.jp/>)
「教育ネットひむか」(宮崎県教育情報通信ネットワーク)の更新及び運用を行い、情報通信ネットワークを活用した教育活動の推進を図るなど学校教育の情報化推進に努めた。
・「教育ネットひむか」の運用(令和6年3月31日現在 アクセス数累計 10,670,709件)



- ・アカウントの発給 登録者数(令和6年3月31日現在) 教育関係職員13,020名
- ・その他 有害・違法情報のフィルタリング、インターネット回線の増強、利用状況の調査、ネットワークシステムの調査研究、ヘルプデスク

- ウ 教育の情報化の支援
情報教育に関する研修や教育用コンテンツ、教育情報等の提供を行い、学校教育の情報化に努めた。

- ・教育の情報化に関する研修の実施
- ・学校Webページの運用支援
- ・ポータルサイトの提供
- ・教育用コンテンツや教育情報の提供
- ・教育用ブログシステムの提供
- ・学校Webページ作成システム(CMS)の提供
- ・インターネット(映像配信システム)を活用した研修の支援(インターネットでe-研修)
- ・情報化コーディネーター派遣

エ 広報活動

- ① 目的
教育研修センター事業の内容や成果について、教職員及び県民に広く周知する。
- ② 事業実績
 - 「教育研修センター利用の案内」を県内教育関係機関、各小・中・県立学校等へ配付した。
 - 「要覧」を紙媒体から電子データに変換し、教育研修センターのホームページからダウンロードできるようにした。
 - 教育研修センターのWebページに、学校支援のバナー内のコンテンツ(研修サポート、研修で利用できる資料、サイエンスアドバイザー、自主研究グループ、学校におけるキャリア教育)や県民の学びの扉のバナー(生涯学習・社会教育等研修講座、宮崎県キャリア教育支援センター)に関連ページやチラシ等を適宜掲載した。

オ 生涯学習・社会教育支援

社会教育専門講座

講座数・日数・受講者数等

講座数	日数	受講者数
2	2	126

講座内容・日数・受講者数等

目的	講座内容	期日	受講者数
地域と学校の連携・協働を推進するために、講演や実践発表をとおして、教育行政の役割について学び、各市町村における本県ならではの地域と学校の連携・協働の推進に資する。	・講演 「地域と学校の連携・協働における教育行政職員の役割」 ・実践発表・質疑応答 「地域と学校の連携・協働の推進に関する取組」協議 「地域と学校の連携・協働の推進に関する教育委員会の取組」	4.13 (木)	90
社会教育の特性や役割等について学び、特に、参加型学習等をファシリテートする知識や技能を習得することで、参加型学習や学校運営協議会の充実に生かすことができる能力を高める。	・講義 「社会教育の特性や役割」 「参加型学習等について」 ・演習 「参加型学習等におけるファシリテーション」	10.13 (金)	36

カ 生涯学習・社会教育課題別研修

① 県民公開講座（マイ・トライ）

子どもの健全な育成とともに県民総ぐるみでの教育推進に係る環境づくりを目指して、生涯学習・社会教育等関係者や学校教育関係者、一般県民の主体的な学びの文化を醸成するために、生涯学習・社会教育及び学校教育推進の視点を含む公開講座を実施した。

講座数・日数・受講者数等

研修数	日数	受講者数
5	5	1,332

講座内容・日数・受講者数等

講座名	講師等	目的と主な内容	時間	期日	受講者数
第1回 みやぎきの人づくり・地域づくりシンポジウム	一般社団法人ライフ&ワーク 代表 妹尾 昌俊 延岡市市立旭中学校地域 学校協働本部 地域学校協働活動推進員 松葉 明美 三股町立勝岡小学校 校長 松村 秀樹 都農町教育委員会 指導主事 上西 憲太郎	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について、国の動向や県の目指す方向性についての理解を深め、これからのみやぎきを担う人材育成や地域の活性化に資する。 ・講演 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」 ・パネルディスカッション	13:30～ 16:20 対面型及び オンライン	5.29 (月)	283
第2回 読書県みやぎきシンポジウム	テレビ宮崎アナウンサー オカファー エニス 豪 絵本・童話作家 きむら ゆういち 保育士 舞咲 りん 読み聞かせ団体代表 重信 美香	県民を対象に、読書の魅力についてともに考える場を提供することで、読書のよさを再確認し、大人も子どもも生涯にわたって読書に親しむ宮崎県民の推進を図る。 ・記念トーク 「絵本づくりのひみつ」 ・大学生ビブリアバトル大会決勝 ・トークセッション	13:00～ 16:30 対面型	8.19 (土)	500

		「絵本の魅力とは」			
第3回 持続可能な宮崎 をめざす「ジェ ンダー平等」	宮崎公立大学客員教授 山田 成美	S D G sやジェンダー 平等に関する世界と宮 崎の比較や取組等の理 解をとおして、学校家 庭・地域などにおける 男女共同参画の推進を 図る。 ・講演 「持続可能な宮崎をめ ざす『ジェンダー平 等』」	10:00～ 11:00 オンライン	11.18 (土)	3 2
第4回 ひなたのつどい (共生社会コン ファレンス) 「共に学び、共 に生きる社会を 目指して」	バリアフリーサークル みやざき代表 真北 聖子 宮崎県読書アンバサダー 米良 美一 延岡市教育委員会社会教育課 指導主事 飯野 小巻 県立看護大学 教授 川原 瑞代 県立延岡しろやま支援学校 教頭 森永 英津子 県立小林こすもす支援学校 教諭 安藝 美友希 都城市教育委員会生涯学習課 主幹 上原 里奈 青島青少年自然の家 職員 谷口 祐貴 宮崎市聴覚障害者協会 会長 堀口 靖之 南九州大学 人間発達学部 学生 丸山 華音	県内の「障がい者の 生涯学習」の推進に向 けて、障がいの有無に 関わらず、誰もが共に 学び、共に生きる共生 社会の実現に向けて、 地域における障がい者 の生涯を通じた学びの 場の整備を目指して、 県内の関係者が、一般 県民向けに、障がいの ある方々の生涯学習に ついて先進事例を紹介 する機会とする。 ・記念トーク 「波瀾波瀾万丈物語～未 来に向けて」 ・県内団体紹介 ・実践報告 ・トークセッション 「誰もが楽しみや学 びに出会うために」	13:00～ 16:30 オンライン	1.27 (土)	2 0 4
第5回 みやざきの人づ くり・地域づく りフォーラム	文部科学省国立教育政策 研究所 総括研究官 志々田 まなみ 国富町立木脇小学校 教頭 芳野 純子 五ヶ瀬町地域学校協働活動 地域学校協働活動推進員 佐藤 成志	県内の地域学校協働 活動の優良実践の表彰 や実践発表からの学び をとおして、社会教育 及び学校教育におけ る、これからのみやざ きを担う人材育成や地 域の活性化に資する。 ・県教育委員会あいさ ・表彰 ・実践発表 質疑応答及び意見交換	13:30～ 16:00 対面型及び オンライン	2.2 (金)	3 1 3

キ 生涯学習・社会教育関係職員等と教職員がともに学ぶ研修

県民総ぐるみ「地域・学校づくりのつどい」
「地域学校協働活動」の意義や推進体制についての理解深化や実践への動機付けを通して、学校・
家庭・地域や企業・市民団体等が一体となって取り組む県民総ぐるみによる教育を推進し、未来を担
う人材づくりや学校を核とした地域づくりに資するために、以下の研修会を実施した。

会場	研修内容	時間	期日	受講者数
宮崎地区 (メイン会場) 県教育研修センター メイン会場からオンライン配 信 (オンライン参加者)	説明 「みやざきの地域と学校の連携・協 働の推進について」実践発表 「宮崎市高岡地区の取組」講演 「地域と学校の連携・協働につい て」	13:30～ 16:20 対面及びオ ンライン	9.29 (金)	1 4 0

各勤務校等	・ワークショップ 「地域・学校が一緒になって、子どもたちとともに何ができるだろうか」			
南那珂地区 (メイン会場) 南郷ハートフルセンター メイン会場からオンライン配信 (オンライン参加者) 各勤務校等	説明 「みやざきの地域と学校の連携・協働の推進について」 ・実践発表 「日南市南郷地区の取組」 ・講演 「地域と学校の連携・協働について」 ・ワークショップ 「地域・学校が一緒になって、子どもたちとともに何ができるだろうか」	13:30～ 16:10 対面及びオンライン	10.5 (木)	90
児湯地区 (メイン会場) 木城町総合交流センターリバーリス メイン会場からオンライン配信 (オンライン参加者) 各勤務校等	「みやざきの地域と学校の連携・協働の推進について」 ・実践発表 「木城町の取組」 ・講演 「地域と学校の連携・協働について」 ・ワークショップ 「地域・学校が一緒になって、子どもたちとともに何ができるだろうか」	13:30～ 16:10 対面及びオンライン	10.19 (木)	108
北諸県地区 (メイン会場) 祝吉地区公民館 メイン会場からオンライン配信 (オンライン参加者) 各勤務校等	説明 「みやざきの地域と学校の連携・協働の推進について」 ・実践発表 「地域ぐるみでつくる未来への道しるべ」 ・講演 「地域と学校の連携協働について」 ・ワークショップ「語り合う場」 「地域ぐるみでつくる未来への道しるべ」	13:30～ 16:00 対面及びオンライン	7.25 (火)	420
西諸県地区 (メイン会場) KITTO小林 メイン会場からオンライン配信 (オンライン参加者) 各勤務校等	説明 「みやざきの地域と学校の連携・協働の推進について」 ・実践発表 「地域ぐるみでつくる未来への道しるべ」講演 「地域と学校の連携・協働について」 ・ワークショップ「語り合う場」 「地域ぐるみでつくる未来への道しるべ」	13:30～ 16:00 対面及びオンライン	7.27 (木)	504
延岡/西白杵地区 カルチャープラザ延岡 メイン会場からオンライン配信 (オンライン参加者) 各勤務校等	説明 「みやざきの地域と学校の連携協働の推進について」実践発表 「五ヶ瀬町の取組」 ・講演 「地域と学校の連携・協働について」 ・ワークショップ 「地域学校協働活動を推進するために、今後それぞれの立場で取り組みたいこと」	13:30～ 16:00 対面及びオンライン	9.22 (金)	141
日向・東白杵地区 大王谷コミュニティセンター メイン会場からオンライン配信 (オンライン参加者) 各勤務校等	説明 「みやざきの地域と学校の連携・協働の推進について」 ・実践発表 「門川町の取組」 ・講演 「地域と学校の連携・協働について」 ・ワークショップ 「地域学校協働活動を推進するために、今後それぞれの立場で取り組みたいこと」	13:30～ 16:00 対面及びオンライン	10.6 (金)	105

ク キャリア教育支援機能の推進

① キャリア教育推進に関する対応（令和6年3月31日現在）

学校の校内研修や市町村教育委員会が主催する研修など、以下のような支援を行った。

コーディネーター		課員		合計		
相談・支援等	講演等	相談・支援等	講演等	相談・支援等	講演等	件・人数合計
568件	192件	231件	33件	779件	225件	1,024件
1,246名	12,840名	205名	1,949名	1,451名	14,789名	16,240名

※相談・支援等…キャリア教育の推進についての講義、協議、相談

※講演等…各種研修会等における講演や、よのなか教室の講師等

② キャリア教育の推進拠点やエリアへの支援

- (1) 市町キャリア教育支援センターやセンター的機能を有する市町村の取組を支援するとともに、センターの新規開設に向けた啓発活動を行った。
- (2) 県立学校におけるキャリア教育推進及び県キャリア教育コーディネーター活用の周知を図るため、宮崎市内の普通科系高等学校への訪問を行った。
- (3) 各種エリア会議に参加し、情報収集及び県のキャリア教育推進に関する情報発信を行った。（宮崎市キャリア教育推進プロジェクト会議、都城商工会議所就職支援委員会）
- (4) エリアにおけるキャリア教育の推進に資する会において指導主事が講義等を行った。（都城市キャリア教育担当者会、日向市教頭会研修会、西都市キャリアみらいゼミ）
- (5) 特別支援学校におけるキャリアパスポートに関する校内研究支援を年間を通じて行った。
- (6) 「LOCAL+」等の動画コンテンツを授業で活用できるように、研修受講者にチラシを配付したり、昼食休憩時に動画を流したりした。

③ キャリア教育研修の実施

教職員を対象とした研修を実施した。

- (1) 「自律した子どもを育てる学校づくり・組織づくり」
 - (2) 「みやざきのキャリア教育」（県立学校管理職及びキャリア教育推進リーダー対象）
 - (3) 「学びを将来につなぐキャリア教育」（県立学校キャリア教育推進リーダー対象）
- 基幹研修において、キャリア教育に関する講義を実施した。
- (1) 県立学校初期研修2年目 講義
 - (2) 公立小・中・義務教育学校初期研修2年目及び中堅教諭等資質向上研修 講義
 - (3) 公立小・中・義務教育学校初期研修1年目研修 講義

④ 中山間地エリア会議（キャリア教育推進セミナー）の実施

中学生段階からキャリア形成支援を行う「ひなた場」（対話型キャリア教育プログラム）や対話を高千穂町教育委員会と協働して上野中学校で実施した。

⑤ 広報活動

- (1) 「宮崎県キャリア教育支援センター通信」を全ての県立学校職員へ配付するとともに、県キャリア教育支援センターWebページに掲載した。
- (2) キャリア教育支援センター及び実践事例に係るキャリア教育プログラムを各種研修会で紹介した。
- (3) 「宮崎県キャリア教育支援センターリーフレット」を作成し、支援する内容やキャリア教育を実践した教職員の声、本年度から一部変更となったコーディネーターへの依頼の流れや県内各地に設置されているキャリア教育支援センター等の情報を記載し配付した。
- (4) 「宮崎県キャリア教育支援センター」のWebページを定期的に更新し、活動事例を掲載した。
- (5) 「宮崎県キャリア教育支援センター」内で、教育資料（教育雑誌、書物他）に関する情報発信を行った。

第2節 県立図書館

1 設置

県立図書館は、明治35年(1902年)に誕生し、現在の館は、置県100年記念事業の「宮崎県総合文化公園建設構想」に基づき最初に建築した施設として昭和63年5月23日、県総合文化公園内に開館した。

県立図書館は、社会教育を担う中核施設としての使命を踏まえ、基本目標として《「知の共有・創造」を支える全県的な図書館ネットワーク》の実現を目指すこととした宮崎県立図書館ビジョンを平成29年12月に策定した。また、策定後の図書館を取り巻く環境の変化に応じて一部内容を見直し、令和5年2月には当該ビジョンを次の枠組みに改めて、県民の学びを支え、宮崎の歴史・文化を伝える役割をより明確にした。

宮崎県立図書館ビジョン

人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館

行動指針及び今後の施策展開の方向性

指針1 図書館の図書館(全県ネットワーク)

- (1) 市町村立図書館(室)等の支援・協力
- (2) 学校図書館の支援
- (3) 大学図書館への利用促進
- (4) 図書館活動・ネットワークを支える施設・システムの維持管理
- (5) 図書館の図書館としての情報発信

指針2 みやざきの資料(地域資料)の拠点

- (1) 地域資料の収集・保存・発信の全県的な促進
- (2) 地域情報のデジタル化・データベース化

指針3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

- (1) レファレンスサービスの充実
- (2) 専門的な資料・情報の収集・整理・保存・提供
- (3) 生涯読書活動の推進
- (4) 他の専門機関との連携
- (5) 情報アクセス環境の整備
- (6) 政策立案の支援
- (7) 地域の実情に応じた課題解決型サービス
- (8) 専門的なサービスを支える人材の育成・確保
- (9) 新たな動向の把握及び事業の改善

【重点取組事項】	事項1 デジタル化等に対応した図書館サービスの拡充
	事項2 障がい者サービスの充実と利用促進
	事項3 市町村立図書館(室)・学校図書館に対する支援
	事項4 専門的資料及び地域資料の収集・整理・活用
	事項5 県内公共図書館(室)職員の専門的知識・スキルの向上

沿革

明治35年5月	私立日州教育会附属図書館の寄贈を受けて開館
大正4年11月	御大典記念事業として新館建設
昭和24年5月	増改築
昭和34年4月	近隣の町村会館から出火、類焼により焼失
昭和36年7月	新館開館
昭和63年5月	置県100年記念事業として総合文化公園に移転新築開館
平成22年10月	新書庫へ視聴覚演習室改修(収蔵能力4万冊増)

施設の概要

設置場所	宮崎市船塚3丁目210番地1(県総合文化公園内)	
建築面積	6,067㎡	延床面積 9,729㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建	収蔵能力 84万冊

閲覧室系設置席数	一般閲覧室 235席	研修室系収容席数	研修ホール 156席
	郷土資料室 32席		視聴覚室 100席
	児童図書室 22席		研修室 52席
	A/Vコーナー 6席		読書振興室 16席
	パソコン席 23席		
	新聞コーナー席 12席		

2 資料概況

県立図書館の蔵書数は、令和5年度末で約84.7万冊となっている。

県民に対する社会教育を推進し、県民の生涯にわたる学習活動を支えるために、各分野における基本的な資料から専門的な資料まで幅広く収集し、特に市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育支援のための収集、郷土資料の収集、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

資料購入の推移

(金額：千円)

区分	R 1		R 2		R 3		R 4		R 5	
	購入数	金額								
図書	10,727	36,976	9,501	33,834	9,465	34,779	10,318	35,091	9,101	36,549
逐次刊行物	3,476	5,544	3,460	5,629	3,544	5,792	3,553	5,881	3,506	6,304
視聴覚資料	44	735	37	888	22	734	25	779	20	747
計	14,247	43,255	12,998	40,351	13,031	41,305	13,896	41,751	12,627	43,600

配架別・分類別資料数

(令和6年3月31日現在)

区分	閲覧室	児童図書室	書庫	B M 書庫	視聴覚資料	その他	合計	割合 (%)
0 総記	8,299	965	41,874	869	384	466	52,857	6.2
1 哲学	4,891	289	20,384	1,031	112	3	26,710	3.2
2 歴史	13,910	1,632	57,822	2,724	930	329	77,347	9.1
3 社会科学	24,402	2,631	153,947	5,383	2,432	356	189,151	22.3
4 自然科学	13,767	3,855	45,727	6,187	1,136	20	70,692	8.3
5 技術	12,098	1,664	43,317	5,326	773	22	63,200	7.5
6 産業	11,167	890	39,325	2,215	556	8	54,161	6.4
7 芸術	10,602	2,742	45,748	5,077	7,718	69	71,956	8.5
8 言語	3,112	626	10,013	1,205	146	44	15,146	1.8
9 文学	26,828	19,151	140,500	38,628	373	56	225,536	26.6
計	129,076	34,445	598,657	68,645	14,560	1,373	846,756	100.0

3 事業実績

(1) 館内利用事業

県立図書館では、図書資料等の閲覧・貸出、レファレンス（調査相談）業務等を行っている。特にビジネスに関する様々な情報を提供するビジネス支援サービス、郷土資料や行政資料等の収集や積極的な活用、関係機関と連携した県政の重点施策情報発信事業等、県民への情報発信に努めている。

また、身近な健康や病気に関する資料を揃えた健康情報コーナーの設置、健康相談「まちの保健室」の開催、妊娠・出産、育児など子育てに関する資料を児童図書室内に揃えた子育て支援コーナーの設置など、身近な課題解決に役立つ情報提供にも努めている。

① 貸出冊数等

入館者数・登録者数・貸出冊数（開館日数：294日）

(令和5年度)

区分	入館者	登録者	貸出冊数	1日平均入館者	1日平均登録者	1日平均貸出冊数
利用者	人	680人	46,969冊	人	2.3人	160冊
0歳～6歳		614	42,571		2.1	145
7歳～12歳		135	2,853		0.5	10
13歳～15歳		154	1,844		0.5	6
16歳～18歳		251	4,379		0.9	15
19歳～22歳		438	11,572		1.5	39
23歳～29歳		949	42,875		3.2	146
30歳～39歳		910	53,800		3.1	183
40歳～49歳		630	33,382		2.1	114
50歳～59歳		574	38,181		2.0	130
60歳～69歳		488	46,389		1.7	158
70歳～						
計	352,033	5,823	324,815	1,197	19.8	1,105

分類別図書貸出冊数

(令和5年度)

分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均
0 総記	7,382	1,671	9,053	31	6 産業	9,586	2,974	12,560	43
1 哲学	6,637	1,046	7,683	26	7 芸術	16,545	10,089	26,634	91
2 歴史	13,523	4,346	17,869	61	8 言語	3,432	1,743	5,175	18
3 社会科学	23,822	5,826	29,648	101	9 文学	54,436	105,199	159,635	543
4 自然科学	17,375	13,221	30,596	104					
5 技術	19,649	6,313	25,962	88	合計	172,387	152,428	324,815	1,105

レファレンス業務

(令和5年度)

区分	対面	電話	文書等	F A X	Eメール	計(件)
件数	4,924	1,296	5	1,085	210	7,520

相互貸借件数

(令和5年度)

区分	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計(冊)
件数	0	433	188	621

- ② ビジネス支援
 県立図書館の持つ様々な蓄積されたデータ情報や資料等をもとに、ビジネス関連情報のコーディネートを行っている。関係機関とのビジネス情報の共有化を図る中で、県民が必要としている情報の提供（関係機関の紹介等含む。）を行っている。
- ビジネス情報コーナー
 - ・ビジネス関連資料 … 会社録、業界情報、業界名鑑、統計、白書、雑誌等
 - ・「仕事」本 … 資格取得、キャリアアップのための書籍等
 - ・パンフレット … 各種政策、求人情報、セミナー等のパンフレット
 - ・パソコン席 … 個人持ち込み用パソコン席15席
 インターネット専用利用者パソコン4台、データベース専用パソコン4台
 - 関係機関との共催による企画展、セミナー等
 〈令和5年度実績〉
 「高校生ビジネスプラン作成講座」開催 令和5年7月29日
- ③ 児童サービス
- 読み聞かせ
 子どもの想像力を育て、多くの言葉と出会う機会を持たせるために、毎週3回職員とボランティアによる絵本の読み聞かせを行っている。
 - ・毎週火曜日：午後2時～午後2時20分（図書館職員による読み聞かせ）
 - ・毎週水曜日：午後3時～午後3時20分（ボランティア団体による読み聞かせ）
 - ・毎週土曜日：午後3時～午後4時（〃〃）
 〈令和5年度実績〉
 読み聞かせ利用者数 こども：1,172人 大人：1,024人 合計：2,196人
 - 子育て支援
 児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置している。
- ④ 健康情報サービス
- 宮崎大学医学部がん相談支援センターとの連携
 がん対策に関するパネル展示のほか、関連するパンフレット、チラシを設置している。
 - 健康相談「まちの保健室」の開催
 第5週を除く土曜日に、1階ギャラリーで宮崎県看護協会より派遣される保健師等による相談会を実施している。
 〈令和5年度実績〉 相談者数 延べ：643人
 - 「がんサロン」の実績
 〈令和5年度実績〉 1回実施（2月18日） 参加者数：25人
 - 「声に出して言葉を楽しもう会」の開催
 〈令和5年度実績〉 2回実施（10月31日、1月26日） 参加者数 延べ：16人
- ⑤ 障がい者等サービス
- 来館が困難な程度の障がい者を有する方々への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出を平成27年3月から実施している。
- 〈令和5年度実績〉 利用登録者数 新規：2人 年度末計：28人 延べ利用数 523点
- 『読む』サポートコーナーの設置
 本を読むことに困られている方が、読書を楽しむことができる資料を配架している。
 LLブック、点字資料、マルチメディアDAISY等
 - 視覚障害者等用データ送信サービスの開始
 閲覧室に設置している端末で、国立国会図書館が製作した視覚障害者等用資料（学術文献のテキストデータ及び録音データ等）のDAISYデータ等と、図書館等が製作し国立国会図書館が収集した視覚障害者等用データ（DAISYデータ）を利用できるようにしている。
- ⑥ 郷土情報の発信
- 郷土資料室の充実
 今後の施策展開として「みやざきの文化の理解・継承の促進」を掲げ、宮崎の歴史や自然、文学、先人に関する資料の充実を図っている。また、県・市町村・国からの刊行物はもちろん、全市町村の広報誌など行政資料の収集にも取り組み、関係機関と連携して積極的に郷土情報の発信に取り組んでいる。
 - 特別展・企画展
 - ・特別展：「宮崎の鉄道～鉄道敷設の歴史～」（令和5年9月23日～10月29日）
 - ・同上：「若山牧水～牧水と震災～」（令和5年11月1日～12月10日）
 - ・企画展：「日本の近代と宮崎県人」（令和6年1月13日～3月10日）
 - ・特別企画展：「作家 中村地平」（令和6年3月23日～3月31日）
 - ・共催展：「遺跡発掘成果展2023『再発見！1990年代調査の遺跡～県北編～』」（令和5年8月18日～9月3日）

- ・同上：「1979年(昭和54年)日本のふるさと宮崎国体展」(令和5年7月22日～8月10日)
 - 巡回展
 - ・「中近世の日向国」美郷町立北郷図書館(4月25日～5月21日)など10会場
 - ・「生命を守る」宮崎市立図書館(8月23日～9月4日)など4会場
 - ・「宮崎のダム」日南市立北郷図書館(5月3日～5月28日)など3会場
 - 講座
 - ・宮崎県文化講座 3回実施(9月23日、10月21日、11月18日) 受講者計46人
 - ・古文書講座
 - 講座①近世文書を読んでみよう「鶴戸詣道の記」2回実施(6月3日、7月1日) 受講者計69人
 - 講座②近世文書を読んでみよう「惟久公慶府御越」2回実施(8月5日、9月2日) 受講者計52人
 - 刊行資料
 - ・『宮崎県文化講座研究紀要 第50輯』
 - ・『佐土原藩嶋津家江戸日記(二十五)』
- ⑦ 職場体験学習・施設見学等
小学生等の館内見学や中学生からの職場体験学習を積極的に受入れ、図書館の利用促進や学生の就業体験、図書館司書の実習等を行っている。

図書館体験学習(施設見学を含む。)

(令和5年度)

種別	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	大学	その他	計
受入団体数	5	9	1	0	0	1	3	19
人数(延数)	153	618	171	0	0	11	23	976

- ⑧ 関係機関と連動した情報発信事業
- ア) 県立図書館ギャラリー展(県政の重点施策情報発信事業)
県政の重点施策や地域の課題等を県民に周知し理解を促すことを目的として、県・国等の関係機関と社会教育施設である県立図書館が互いの資産(人・物・施設等)を有効活用し、企画展や関連イベント等の情報発信事業を図書館の施設を使用して実施している。
○令和5年度実施事業数…30事業
〈実施事業例〉
「男女共同参画パネル展」、「犯罪被害者支援に関する企画展」、「人権啓発パネル展」等
- イ) 県立図書館ギャラリー展(主催・共催事業)
県政の重点施策情報発信事業以外に、当館が定めたテーマによる主催行事や関係機関との共催事業を実施し、積極的に情報発信を行っている。
○令和5年度実施事業数…5事業
〈実施事業例〉
「秋の読書週間企画展」、「NHK大河ドラマ「どうする家康」全国巡回展」等
- ウ) 県内公共図書館・図書室における巡回展
県政の重点施策情報発信事業においては、広く県内各地に周知を図るべきものであることから、県内公共図書館・図書室での巡回展を実施している。
○巡回展実施館数…19館(室)
○巡回展実施事業数…41事業
- ⑨ 各種相談事業
地域や住民の課題やニーズの多様化に対応するためには、情報提供だけでなく「人」と「組織」を結びつける積極的なレフェラルサービスも必要であり、各種機関と連携した相談会を実施している。
- ア) 法律相談会
・実施日…毎月第2金曜日(8月を除く) ・相談件数…18件
イ) ランタンのつどい(自死遺族の思いの分かち合いの会)
・実施日…毎月第2土曜日 ・参加者数…74人

(2) 館外利用事業

- ① 移動図書館車「やまびこ」による巡回配本に代わり、平成28年度からやまびこ文庫事業を開始した。やまびこ文庫は、町村や学校等における読書環境の整備を支援する事業で、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援及びBM書庫(市町村配送専用書庫)で貸出を行う支援を実施している。

- ア) 定期配送による支援
〈町村支援事業〉

令和5年度貸出冊数

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美郷町	美郷町立西郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,500		美郷町立北郷図書館	1,500
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室	1,200		美郷町立南郷図書館	1,200
日之影町	日之影町立図書館	900	高原町	高原町中央公民館図書室	1,500
西米良村	西米良村立図書室	300	木城町	木城町総合交流センターリパリス図書室	60
				合計	11,160

<学校支援事業>

令和5年度配本冊数

市町村名	学校名	冊数	市町村名	学校名	冊数	市町村名	学校名	冊数
高千穂町	押方小学校	360	諸塚村	諸塚小学校	1,170	宮崎市	西米良中学校	600
	田原小学校	900		荒谷小学校	600		明星視覚支援学校	240
	岩戸小学校	1,500	日之影町	日之影中学校	750		赤江まつばら支援学校	360
	上野小中学校	1,500		美郷町	美郷北義務教育学校		900	みなみのかぜ支援学校
	延岡しろやま支援学校高千穂校	450	美郷南学園		840		清武せいりゅう支援学校	1,200
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	990	椎葉村	椎葉小学校	630	宮崎海洋高等学校	400	
	三ヶ所小学校	1,500		尾向小学校	630	都城市	都城さくら聴覚支援学校	630
	坂本小学校	1,500		不土野小学校	1,500	日南市	日南くろしお支援学校	1,500
	上組小学校	1,200		大河内小学校	560	日向市	日向ひまわり支援学校	900
	五ヶ瀬中学校	525		松尾小学校	1,200	新富町	児湯るびなす支援学校	600
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200		椎葉中学校	450	小林市	小林こすもす支援学校	600
							合計	28,635

イ) 市町村・団体支援用専用資料の貸出による支援
<大量貸出支援事業>

令和5年度貸出冊数

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
美郷町	美郷町立北郷図書館	110	宮崎市	高岡農村環境改善センター図書室	346
都農町	都農町民図書館	604	小林市	小林市立図書館	9
			合計		1,069

<児童教育施設等支援事業>

令和5年度 登録施設数…25施設 貸出冊数…5,704冊

② 子育て支援図書セット

絵本・育児書（1セット30冊）を町村の図書館・図書室へ貸し出し、子育て世代を支援している。

③ 団体文庫

読書活動団体を支援し、団体の健全な育成を図るため、図書資料の長期大量貸出を実施している。

④ 県立図書館資料の市町村等への貸出

県内全域での県立図書館の利用を図るため、利用者の居住する市町村立図書館・室等から県立図書館の図書を貸し出す県立図書館の本お取り寄せサービス（マイラインサービス）を実施している。

令和5年度貸出冊数

図書館・室名	貸出冊数	図書館・室名	貸出冊数	図書館・室名	貸出冊数
宮崎市立佐土原図書館	66	美郷町立西郷図書館	275	県立都城農業高等学校	3
都城市立図書館	270	美郷町立北郷図書館	140	県立宮崎北高等学校	101
都城市立高城図書館	9	美郷町立南郷図書館	50	県立高鍋高等学校	0
延岡市立図書館	219	宮崎市立田野公民館図書室	8	県立宮崎東高等学校	0
延岡市立図書館北方分館	14	宮崎高岡地区農村環境改善センター図書室	77	県立妻高等学校	48
延岡市立図書館北浦分館	7	都城市山之口地区公民館図書室	4	県立日向工業高等学校	15
延岡市立図書館北川分館	5	都城市山田総合センター図書室	90	県立宮崎西高等学校	175
日南市立図書館	434	都城市高崎たちばな学び館	24	県立福島高等学校	3
小林市立図書館	110	高原町中央公民館図書室	35	県立都城泉ヶ丘高等学校	187
日向市立図書館	280	西米良村立図書室	7	県立延岡星雲高等学校	12
串間市立図書館	103	木城町総合交流センターリパリス図書室	100	県立高千穂高等学校	0
西都市立図書館	82	諸塚村中央公民館図書室	8	県立飯野高等学校	18
えびの市民図書館	38	椎葉村図書館	12	県立小林高等学校	57
三股町立図書館	109	日之影町立図書館	287	県立延岡商業高等学校	7
国富町立図書館	244	五ヶ瀬町教育委員会図書室	109	県立宮崎工業高等学校	0
綾てるは図書館	143	県立五ヶ瀬中等教育学校	75	県立高鍋農業高等学校	0
町立高鍋図書館	151	県立日向高等学校	11	県立本庄高等学校	6
新富町図書館	111	県立富島高等学校	10	県立宮崎海洋高等学校	29
川南町立図書館	36	県立宮崎南高等学校	0	宮崎大学附属図書館本館	21
都農町民図書館	161	県立佐土原高等学校	52	宮崎大学附属図書館医学分館	0
門川町立図書館	43	県立宮崎商業高等学校	199	県立看護大学	2
高千穂町立図書館	154	県立日南振徳高等学校	13	合計	5,059

※日南市立まなびピア図書館及び北郷図書館、南郷図書館は本館（日南市立図書館）に含まれる

※小林市立図書館野尻分館・須木分館は本館（小林市立図書館）に含まれる

(3) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体への貸出及び視聴覚資料等を利用した映写会、講座等を実施している。

① 令和5年度視聴覚資料等利用状況

視 聴 覚 資 料		機 器	
利 用 回 数	利 用 者 数	利 用 回 数	利 用 者 数
22	1,696	19	747

② 令和5年度事業実績

○ 映写会

県民の生涯学習や子どもたちの情操教育に役立てるため、子ども向け及び一般向けの映写会を実施している。

図書館子ども映写会	1回	参加人数	35人
図書館シアター	4回	参加人数	365人
メモリアル宮崎	2回	参加人数	107人

○ 緑陰コンサート

音楽の専門的な知識や技術を持つ団体等を招き、演奏会や音楽レコードの鑑賞会を実施している。
2回 参加人数 252人

(4) 文化活動事業

○ 第65回「こどもの読書週間」関連行事

企画展示「いのちをみつめて～平和をつたえるこどもの本」「児童図書室紹介コーナー」
特別おはなし会「外国語で絵本を楽しもう」「みんなでなかよくブレーメンの音楽隊」
絵本ワークショップ「エコな絵本をつくろう～牛乳パックでくるくる絵本！～」ほか
(実施期間：令和5年4月18日～5月7日)

○ 第77回「秋の読書週間」関連行事

読書会「初めて読む中村地平作品」(実施日：令和5年10月28日)
企画展「宮崎県の図書館・図書室歩き」、おとなのためのおはなし会 ほか

(5) ホームページ等活用事業

ホームページを通じて、県内図書館(室)所蔵資料の横断検索サービスの提供や、貴重資料のデジタル画像の公開とともに、様々なイベント、サービスについて積極的に発信している。平成28年度からはフェイスブック、令和4年度からはInstagramによる情報発信を開始し、SNSの活用にも努めている。
(令和5年度年間アクセス件数 フェイスブック35,145件、Instagram11,515件)

パソコン用トップページアクセス件数の推移

年度	R1	R2	R3	R4	R5
件数	320,790	243,672	163,523	169,170	262,675

※1 R1及びR2はホームページに設置しているアクセスカウンター、R3以降はグーグルアナリティクスによる計数。

※2 令和2年度については、システム更新のため、令和3年2月中旬から下旬までの件数はカウントされていない。

(6) 県民の読書振興、生涯学習に資する各種事業実績

○ ウィキペディアタウン in 椎葉村

地域の歴史や文化を探訪し、図書館の資料等を活用しながら記事をまとめてインターネットのフリー百科事典「ウィキペディア」に投稿・発表する県民参加型ワークショップイベントであるウィキペディアタウンを椎葉村図書館「ぶん文Bun」の共催で実施した。

実施日 令和5年8月27日 参加者数 12人

○ 宮崎県立図書館名誉館長就任10周年記念講演会

当館の伊藤一彦名誉館長が平成25年4月の就任から10年を迎えたことを記念する講演会を開催し、歌人としての文芸活動等で著名な名誉館長が自らの豊富な読書経験や読書への思いなどを語ることを通じて、読書への注目や関心を高めるきっかけとした。

実施日 令和5年10月7日 参加者数 49人

○ 郷土の作家「中村地平」一試写会と館歌披露

本県出身の作家で、当館の第23代館長を務めた中村地平(1908～1963年)の功績をたたえ、地平のドキュメンタリー映画の試写会と、地平が黒木清次と共同で作詞した県立図書館歌の独唱披露を開催した。また、映画制作に当たっての取材協力を行った。

実施日 令和6年3月23日 参加者数 284人(試写会2回) 61人(館歌披露)

第3節 県立美術館

1 設 置

置県100年記念事業「宮崎県総合文化公園建設構想」に基づき、県民広場、図書館、芸術劇場に続く県民文化の拠点施設として、平成4年12月着工、平成6年12月に本体が完成。県立美術館条例の施行にともない平成7年4月1日「宮崎県立美術館」として設置され、同年10月17日に開館した。

(1) 施 設

地下1階 地上3階			
・高 さ	23m	・地 下	2,273.99㎡
・南北の長さ	90m	・1 階	3,403.98㎡
・東西の長さ	30m	・2 階	2,526.51㎡
・建築面積	3,428.48㎡	・3 階	2,050.06㎡
・延床面積	10,333.23㎡	・塔 屋	78.69㎡

(2) 事業部門

・展示部門	コレクション展示室 企画展示室 県民ギャラリー 等	2,926㎡
・収蔵部門	収蔵庫 一時保管庫 荷解梱包室 等	1,527㎡
・教育普及部門	美術図書室 アートシアター アトリエ 等	782㎡
・調査研究部門	研究室 会議室 資料室	186㎡
・サービス部門	喫茶室 ミュージアムショップ 等	699㎡
・管理部門	館長室 事務室 警備室 中央監視室 等	1,703㎡

2 事業実績

(1) コレクション展

美術館の収蔵作品を、コレクション展示室において、より広く県民に親しまれるとともに学習・憩いの場ともなるようテーマを設けて紹介する。令和5年度は次の展示を行った。

① コレクション展示室1

内 容 館蔵品の中から企画テーマを設けて国内外の名品を紹介した。

会期及びテーマ

- ・第1期：4月 8日(土)～6月25日(日) 「名品セレクション -生命の息吹」
- ・第2期：7月 1日(土)～9月12日(火) 「たのしむ美術館」
- ・第3期：9月16日(土)～12月17日(日) 「名品セレクション
-没後40年 山口長男」
- ・第4期：1月 5日(金)～4月 9日(火) 「名品セレクション
+新収蔵 アンドレ・マッソン」

② コレクション展示室2

内 容 館蔵品の中から企画テーマを設けて作品を紹介するとともに、本県出身の作家や本県にゆかりのある作家の作品を紹介した。

会期及びテーマ

- ・第1期：4月 8日(土)～6月25日(日) 「宮崎の美術 -表現する女性たち」
「版のたのしみ」
- ・第2期：7月 1日(土)～9月12日(火) 「たのしむ美術館」
- ・第3期：9月16日(土)～12月17日(日) 「宮崎の美術
-置県140年 県庁建設記念作品」
「伊達孝太郎が見たアメリカ」
- ・第4期：1月 5日(金)～4月 9日(火) 「宮崎の美術 -新収蔵 根井南華」
「ジャン・アルプ」

③ コレクション展示室3(瑛九展示室)

内 容 瑛九の油彩画、版画、フォト・デッサン、関連資料などにより瑛九の人と芸術を紹介した。

会期及びテーマ

- ・第1期：4月 8日(土)～6月25日(日) 「瑛九のあしあと」
- ・第2期：7月 1日(土)～9月12日(火) 「たのしむ美術館」
- ・第3期：9月16日(土)～12月17日(日) 「瑛九は語る」

・第4期：1月5日(金)～4月9日(火) 「瑛九の1957年」

④ コレクション展示室4(彫刻展示室)

内 容 館蔵品の中から企画テーマを設けて主に彫刻作品を紹介した。

会期及びテーマ

- ・第1期：4月8日(土)～6月25日(日) 「近代イタリア彫刻」
 - ・第2期：7月1日(土)～9月12日(火) 「たのしむ美術館」
 - ・第3期：9月16日(土)～12月17日(日) 「現代彫刻－国内作家－」
- ※第4期は「みやざき総合美術展」会場として使用。

⑤ たのしむ美術館

内 容 当館のコレクション展の一環として、子どもから大人までを対象に様々な見方を紹介する入門的な展覧会。

技法、題材等に焦点を当てて分かりやすい解説や問いかけを設定するなど作品をより魅力的に感じてもらう工夫を通して、誰でも美術に親しむことができ、作品鑑賞の楽しさを味わい、美術や美術館に対する興味関心を高める機会とした。

会 期 7月1日(土)～9月12日(火) (計63日間)

入場者数 7,119名

関連事業

○スタンプラリー

各展示室にスタンプを準備し、全スタンプを押した鑑賞者に「たのしむ美術館オリジナルシール」をプレゼントした。

・日 時 会期中随時

(2) 特別展等

コレクション展と併せて国内外の優れた作品を紹介するため、令和5年度は次の展覧会を実施した。

① 日本の切り絵 7人のミューズ

内 容 日本を代表する女性切り絵作家7人(蒼山日菜、SouMa、筑紫ゆうな、福井利佐、切り剣Masayo、松原真紀、柳沢京子)にスポットを当て、その代表作や新作約110点を紹介。

会 期 令和5年5月20日(土)～7月2日(日) (計38日間)

入場者数 5,970名

関連行事

○開会式

日 時：令和5年5月19日(金) 午後3時から

会 場：2階アートフォーラム

○作家来場イベント(蒼山日菜)

日 時：令和5年5月20日(土) 午前10時15分から午後3時まで

会 場：2階企画展示室、アートフォーラム、1階アートホール

○作家来場イベント(福井利佐)

日 時：令和5年6月18日(日) 午前10時15分から午後4時30分まで

会 場：2階企画展示室、アートフォーラム、1階アートホール

○ワークショップ「えりものづくりに挑戦！」

日 時：令和5年6月3日(土) ①午後1時30分から午後2時30分まで

②午後3時30分から午後4時30分まで

会 場：1階アートホール

○特別展示「宮崎の切り絵－神楽のえりもの」

日 時：会期中随時

会 場：2階アートフォーラム

○当館学芸員によるギャラリートーク

日 時：令和5年5月27日(土)、6月7日(水)、24日(土)

いずれも午後2時から午後2時45分まで

会 場：2階企画展示室

② ヨハネ・パウロ2世美術館展 ～華麗なる西洋絵画 伝統の系譜～

内 容 ポーランドの首都ワルシャワにあるヨハネ・パウロ2世美術館の核となるポル
チェンスキ・コレクションより、16世紀ルネサンスからバロック、ロココ、アカ
デミー絵画に至るまでの巨匠たちによる女性が描かれた絵画61点を紹介。

会 期 令和5年7月15日(土)～8月27日(日) (計39日間)

入場者数 5,932名

関連行事

○開会式

日 時：令和5年7月14日(金) 午後3時30分から

会 場：2階アートフォーラム

○講演会

日 時：令和5年7月16日(日) 午後2時から午後3時15分まで

会 場：1階アートホール

講 師：佐藤直樹氏 (東京藝術大学美術学部芸術学科教授)

○ミュージアムコンサート

日 時：令和5年7月30日(日) 午後4時30分から午後5時30分まで

会 場：2階アートフォーラム

演 奏：横山起朗氏(ピアニスト・作曲家)

○当館学芸員によるギャラリートーク

日 時：令和5年8月12日(土)、19日(土)

いずれも午後2時から午後3時まで

会 場：2階企画展示室

③ 生誕100年 山下清展 一百年目の大回想

内 容 昨年度生誕100年を迎えた山下清の世界観を、幼少期から円熟期まで5章で構成
し、代表的な貼り絵を中心に油彩や陶磁器など約190点を紹介。

会 期 令和5年10月7日(土)～11月26日(日) (計43日間)

入場者数 36,320名

関連行事

○開会式

日 時：令和5年10月6日(金) 午後3時から

会 場：2階アートフォーラム

○記念講演会

日 時：令和5年10月7日(土) 午後1時30分から午後3時まで

会 場：1階アートホール

講 師：山下浩氏 (山下清作品管理事務所代表、山下清の甥)

○当館学芸員によるギャラリートーク

日 時：令和5年10月14日(土)、25日(水)、11月4日(土)、15日(水)

いずれも午後2時から午後2時30分まで

会 場：2階企画展示室

④ 第4回みやざき総合美術展

内 容 県内在住者及び県出身者を対象に、自由表現、絵画、彫刻、書、写真、工芸、
デザインの7部門の作品を公募し、入選、入賞作品を展示紹介した。

会 期 令和6年2月10日(土)～2月25日(日) (計16日間)

展示点数 481点

会 場 企画展示室、県民ギャラリー、アートフォーラム

応募点数 1,115点

入場者数 6,321名

関連事業 開会式(令和6年2月9日)、表彰式(2月11日)

書部門「ワンポイント・レッスン」(令和6年2月12日)

絵画部門「作品を語る会」(令和6年2月17日)

写真部門審査員 速水惟広氏「記念講演会」(令和6年2月18日)

(3) 教育普及部門

① 実技講座

県民の美術に関する技術の向上や創作意欲を喚起するため、県内外で活躍している講
師を招き、2講座を各2回実施した。

講座名	内容	講師	日時	会場	参加人数
てん刻	鑑賞と制作を通して、てん刻の歴史と技法を学ぶ。	小原 俊樹 (工芸書家)	令和5年 7月22日(土)～7月23日(日) 7月29日(土)～8月30日(日) 土曜日・日曜日とも10:30～15:30	アトリエ3	各8名 計16名
象がん	簡単な象がんの技法を体験し、アクセサリーを製作する。	伊藤 恵美子 (象がん師)	令和5年 9月 2日(土)～9月 3日(日) 9月 9日(土)～9月10日(日) 土曜日 11:00～17:00 日曜日 11:00～16:00	アトリエ3	各8名 計16名

② 子ども美術教室

子どもたちを美術に親しませ、興味・関心や美術作品に対する理解を深めさせるため、鑑賞や創作等の機会を提供した。

教室名	内容	期 日	会 場	参加人数
こいのぼり de アート	封筒を使ってオリジナルこいのぼりを制作した。	令和5年 5月 3日(水・祝) 5月 4日(木・祝)	アトリエ3	25名
名画たんてい団1	たんてい手帳(ワークブック)を使ってコレクション展を楽しく鑑賞した。	令和5年 5月30日(火) ～ 6月18日(日)	コレクション 展示室	181名
夏を かざろう	身近な材料を使って、飾って楽しめる風鈴を作る工作キットを配付した。	令和5年 7月15日(土)	アトリエ3	13名
えのぐで あそぼう	絵の具を使った簡単な技法を体験し、楽しい作品を作った。	令和5年 8月26日(土) 8月27日(日)	アトリエ3	25名
ヒカリで えがこう	光で描く日光写真を体験し、ちょっと変わった自画像を作った。	令和5年 9月23日(土)	アトリエ3	12名
名画たんてい団2	たんてい手帳(ワークブック)を使ってコレクション展を楽しく鑑賞した。	令和5年10月11日(水) ～10月29日(日)	コレクション 展示室	129名
こども美術館DAY!	気軽に遊べるおもちゃや飾って楽しめる物などを作った。	令和5年12月 9日(土) 12月10日(日)	アトリエ3ほか	267名
名画たんてい団3	たんてい手帳(ワークブック)を使ってコレクション展を楽しく鑑賞した。	令和6年 2月20日(火) ～ 3月10日(日)	コレクション 展示室	181名

③ ワークショップ

従来の表現方式や技法にとらわれない表現活動をとおして、美術への興味関心を高め、表現することについて考える場として、ワークショップを実施した。

名 称	会 場	期 日	内 容	参加人数
ハコ de アート! (募集型)	身の周りでいらなくなったものを箱に詰めて、大切な作品の一部へと変化させた。	令和5年6月10日(土)	アトリエ3	14名
タッチ de アート! (募集型)	様々な素材を貼り合わせて作った作品に触れて、手触りの違いを楽しんだ。	令和5年11月23日(木・祝)	アトリエ3	12名

④ 旅する美術館・旅してアート

県内各地で当館所蔵作品による展覧会を開催するとともに、複合的にアウトリーチ活動を展開することで、より多くの県民が気軽に本物の美術作品に触れる場や、創作体験及び美術の専門的な話を聞く機会など、様々なアートとの出会いの場を設定することで、県民が美術に親しみ、地域の文化振興に寄与することを目的として実施した。

○ 旅する美術館

より多くの県民が、身近な場所で気軽に本物の美術作品に親しめるよう、県内2町村で当館の収蔵作品展を開催した。また、会場近隣の小中学校で、美術館オリジナル映像番組の鑑賞や造形体験等を行う「旅する美術教室」を実施した。

旅する美術館（収蔵作品展）		
市 町 村	椎 葉 村	高 千 穂 町
会 期	令和5年11月2日(木)～11月7日(火)(計6日間)	令和5年11月10日(金)～11月15日(水)(計6日間)
会 場	椎葉村交流拠点施設 Katerie	高千穂町コミュニティセンター
展 示 作 品 数	19点	20点
入 場 者 数	285名	415名

旅する美術教室		
期 日	会 場	参加人数
10月27日(金)	高千穂町立上野中学校	28名
11月6日(月)	椎葉村立椎葉中学校	55名
11月7日(火)	高千穂町立押方小学校	39名

○ 旅してアート（アートトーク）

美術作家や美術の専門家等を招聘し、講師と直接触れ合える講演会やワークショップを開催した。

講 師	小山裕介 氏	末永幸歩 氏
日 程	令和5年6月25日(日)	令和5年8月2日(水)
会 場	1階 アトリエ3	1階 アートホール、コレクション展示室1
内 容	伝統郷土玩具についてのトークを聞き、住んでいる地域等をもとに空想郷土玩具の制作を体験する。	「アート思考」についてのトークを聞き、コレクション展示作品を鑑賞して感じたことを表現するワークショップ
参加者数	19名	31名

⑤ アートシアター・映像ブース

当館では、美術の普及を図るため、館オリジナルの番組や特別展関連番組等をアートシアターを利用して県民の鑑賞に供している。

令和5年度は、一般貸出の実績はなかった。特別展及びみやざき総合美術展では、以下の上映を行った。

- ・「ヨハネ・パウロ2世美術館展」… 18世紀後半から19世紀前半の西洋絵画について紹介する映像
- ・「生誕100年 山下清展」 …… 山下清が貼絵やスケッチを制作する姿を記録した映像
- ・「第4回みやざき総合美術展」 …… 各部門の入賞作品を紹介する映像

⑥ 県民ギャラリー

県民の美術文化向上のために、作品発表及び鑑賞の場として県民ギャラリー等を貸し出した。利用者の事情による内定取消しもあったが、多くの県民の利用があった。

絵画	彫刻	工芸	デザイン	写真	書	総合美術	その他	計	入場者数
9件	2件	1件	0件	1件	4件	0件	16件	33件	36,082名

⑦ アトリエ開放

県民の創作活動を支援するため、専用設備を備えたアトリエを毎週火曜日、木曜日、日曜日(休館日を除く)に開放した。利用状況は次のとおりである。

種 別	油 彩	水 彩	版 画	デッサン	彫 刻	陶 芸	その他	計
利用者数(一般開放)	0名	0名	1名	0名	0名	61名	64名	126名

⑧ インターンシップ、職場体験学習等

キャリア教育に係る就業体験の場として、生徒の実習を受け入れた。展示室やインフォメーションでの来館者対応業務の補助や講座等の準備、団体対応補助等、様々な体験実習を行った。

学 校	受入人数	期 間
宮崎県立宮崎高等高等学校	2名	令和5年 7月25日(火)～ 7月27日(木)(3日間)

宮崎市立大宮中学校	2名	令和5年 9月12日(火)(1日間)
宮崎県立佐土原高等学校	4名	令和5年10月25日(水)～10月27日(金)(3日間)

(4) 資料整備

① 美術資料

- 収集方針
- ・郷土出身作家及び本県にゆかりのある作品
 - ・わが国の美術の流れを展望するにふさわしい作品
 - ・海外のすぐれた作品

この方針のもとに、昭和63年から資料の収集を進めており、平成元年度には美術品等取得基金を創設し、収集計画のもと美術品の系統的な収集を行っている。厳しい財政事情から、近年はこの基金の執行凍結を余儀なくされていたが、平成27年度の条例改正により基金の活用が可能となった。

令和5年度は一般会計予算でシュルレアリスムの作家の作品1点を購入した。また寄贈作品2点も加え、同年度末の収蔵作品数は、4,257点となっている。

② 図書資料

平成5年度から年次的に整備を進め、令和5年度末現在23,348冊になっている。図書の主なものは、美術図書室に配架し県民の閲覧に供するとともに、美術情報の提供や県民からの照会や相談に応じる際の資料としている。

○ 蔵書規模(R6. 3. 31現在)

種別	冊数
図書	10,705
図録等	11,013
合本雑誌等	1,630
計	23,348

配架場所		冊数
開架	美術図書室	4,535
閉架	資料室等	18,813
計		23,348

③ 当館所有番組

本館ではアートシアター、旅する美術教室などの場において、美術作品などを良質な画像で県民の鑑賞に供しており、これらで使用するソフトの整備状況は、静止画番組318タイトル、館制作オリジナル番組40タイトル、動画番組11タイトルの計369タイトルとなっている。